

行政の予算・決算は、前年度の予算と比較して今年度の予算を、また前年度の決算と比較して今年度の決算という比較が通常である。ところが、行政評価制度は、前年度の決算見込み額や実績を評価し、めざすべき目標と照らし合わせ、次の計画や予算額を算出する画期的なシステムである。

- H25年度実施の評価では、
施策マネジメントシートの「この施策にかかる事業費欄」は、H23年度は決算、H24年度は決算見込み、H25年度は当初予算、H26年度は1次評価結果を記載としている。
よって、過去の行政評価をさかのぼって調べた。H22年度～H25年度までの行政評価(4冊分)で公表された各年度の施策事業費の当初予算、決算見込み額、決算額を調べてみた。
すると、
 - H25年度の評価の時期がH25年4月(実際には、H24年度が終わり、H25年度は始まったばかり)であるため、
 - ① H25年度のふりかえりが反映できない行政評価制度である。
 - ② 施策によって、前年度の決算見込み額が確定しにくい時期である。
 - 繰越明許のある施策の表記がないため、
 - ① 決算をみると、当初予算より減額されていて事業が縮小されたのか、年度をまたがって事業が継続していることがわかりにくい。
 - ② 決算を出した翌年度に決算修正額となっても理由がわからない。

		H22年度分の 施策の事業費	H23年度分の 施策の事業費	H24年度分の 施策の事業費
参考にした 4カ年の 行政評価	H22年度実施の評価では	当初予算	-	-
	H23年度実施の評価では	決算見込み額	当初予算	-
	H24年度実施の評価では	決算	決算見込み額	当初予算
	H25年度実施の評価では	決算を修正	決算	決算見込み額

H23年度分の施策の事業費 H25年度実施の評価では	
当初予算額=決算見込み額=決算額	15 施策
当初予算額≠決算見込み額=決算額	30 施策
当初予算額=決算見込み額≠決算額	23 施策
当初予算額≠決算見込み額≠決算額	77 施策

H24年度分の施策の事業費 H25年度実施の評価では	
当初予算額=決算見込み額	15 施策
当初予算額≠決算見込み額	130 施策

毎年実施した評価で「H23年度分の施策事業費」をみると、

施策マネジメントシートに掲載された145施策は、

H24年度実施した時、決算見込み額 合計 610億 1955万 8千円

H25年度実施した時、決算額 合計 599億 6039万 9千円

その差 10億 5915万 9千円となるが、特に500万円以上、差があった施策は下記のとおり。

●決算見込額より、決算が500万円以上ふえた施策

基本方向	H23年度分の施策評価時期 → 施策	A	B	C	C-B 単位:千 円	
		H23年度 当初予算	H24年度 決算見込	H25年度 決算		
30-30-20-40	下水道施設の整備・適正管理	5,995,341	5,536,820	5,807,057	270,237	A≠B≠C
40-20-10-10	商工業の活性化	338,784	248,343	337,868	89,525	A≠B≠C
10-10-30-10	子育て支援策の充実	4,027,186	3,908,893	3,954,663	45,770	A≠B≠C
30-30-10-30	安定した水道水の供給	3,044,111	2,905,981	2,950,981	45,000	A≠B≠C
20-20-10-50	生涯学習・社会教育施設の整備	83,947	83,947	123,756	39,809	A=B≠C
10-10-40-30	生活自立支援	1,685,500	1,634,209	1,657,067	22,858	A≠B≠C
50-40-10-10	道路網の整備	739,600	616,327	634,388	18,061	A≠B≠C
20-10-10-10	教育内容の充実	1,307,590	1,296,017	1,308,571	12,554	A≠B≠C
20-40-10-20	スポーツ・レクリエーション施設の 整備	53,563	46,721	53,004	6,283	A≠B≠C

●決算見込額より、決算が500万円以上減った施策

繰越明許(単年度で終わらなかった事業は、お金の使い道を明らかに限定して、繰り越して、翌年度以降にも事業を行う)であることが行政評価ではわからない。 例: 20-10-10-20 教育環境の整備

基本方向	H23年度分の施策評価時期 → 施策	A	B	C	C-B 単位:千 円	
		H23年度 当初予算	H24年度 決算見込	H25年度 決算		
20-10-10-20	教育環境の整備	2,495,188	2,499,276	1,545,074	-954,202	A≠B≠C
10-30-30-20	介護サービスの適切な給付	6,546,073	6,546,073	6,320,560	-225,513	A=B≠C
10-10-20-10	在宅及び施設サービスの充実	1,428,082	1,428,082	1,250,259	-177,823	A=B≠C
70-30-10-10	健全な財政運営	3,430,734	3,416,677	3,327,246	-89,431	A≠B≠C
10-50-10-50	消防力の整備充実	295,824	295,824	232,816	-63,008	A=B≠C
10-10-50-10	生活の安定と援護	2,550,688	2,550,733	2,505,559	-45,174	A≠B≠C
70-30-40-10	庁舎整備の推進	104,023	106,347	89,616	-16,731	A≠B≠C
40-10-30-20	漁業振興対策	62,090	68,777	54,826	-13,951	A≠B≠C
10-50-10-40	消防団の充実強化	114,711	114,711	103,166	-11,545	A=B≠C
10-30-10-10	制度運営の適正化	5,765,970	5,210,873	5,202,700	-8,173	A≠B≠C
10-10-30-20	母子・父子福祉の充実	479,159	479,159	471,371	-7,788	A=B≠C